

映画専攻専門科目

科目番号		授業科目名	映画創造特別演習 I	単位数	4	履修区分	必修科目A
通年		教員名	映画専攻専任教員	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容	<p>各領域の映画的創造力および専門技術を向上させ、制作技法についての実験・考察を行なうとともに、共同作業のなかで各専門領域の相互連携を理解し、映画の総合的表現力を追求するための方法論を研究する映画制作演習。夏季と春期にそれぞれ16mmフィルムおよびHDという異なった映像メディアによって行なわれる。</p>						
教材・参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
成績評価の方法	出席(参加)状況および作品の中に示された各領域の専門的創造性・技術力によって評価						
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	映画創造特別演習 II	単位数	4	履修区分	必修科目A
通年		教員名	映画専攻専任教員	対象学生	映画専攻2年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容	<p>各領域の映画的創造力および専門技術を向上させ、制作技法についての実験・考察を行なうとともに、共同作業のなかで各専門領域の相互連携を理解し、映画の総合的表現力を追求するための方法論を研究する映画制作演習。夏季と春期にそれぞれ16mmフィルムおよびHDという異なった映像メディアによって行なわれる。</p>						
教材・参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
成績評価の方法	出席(参加)状況および作品の中に示された各領域の専門的創造性・技術力によって評価						
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

映画専攻専門科目

科目番号		授業科目名	映画表現技術論	単位数	2	履修区分	必修科目B
通年		教員名	梶井省志、筒井武文	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>自らを写し出すことを前提として制作されている。今注目を浴びている3Dすらも、一種の視覚的な“だまし絵”という意味では本質的に2次元ではない。</p> <p>しかし映像・映画作品を実際に制作する場では、絵画のように最初から平面として世界を捉えるのではなく、あくまでも立体的な奥行き感のあるものとして捉え、それが平面として写し出されたときに、いかなる光を、いかなる美しさを、いかなる効果をもたらすかを仮想する。研ぎ澄まされた想像力と、立体を平面に取り込むための様々な道具を操る確かな技術力が要求される。</p> <p>映像表現は直観力のみでは具現化されることはなく、そこには常に表現のための技術という触媒が必要とされることは言うまでもない。本講義ではその様々な表現技術を、現場で活躍している方々とともに明らかにしていく。</p> <p>映画は同時に産業でもある。従ってここでは撮影に関わる現場的な技術ばかりでなく、作品の根幹に大きな影響を及ぼすプロデュースの技術、商業映画として流通させる技術にも目を向けていく。</p>					
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席(参加)状況および作品の中に示された各領域の専門的創造性・技術力によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	作品・作家研究	単位数	2	履修区分	必修科目B
通年	火 1, 2	教員名	黒沢 清	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容							
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席状況およびレポートの内容によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

映画専攻専門科目

科目番号		授業科目名	脚本研究	単位数	2	履修区分	必修科目B
通年	月 1, 2	教員名	筒井ともみ他	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>映画の脚本と演劇の戯曲の違いは、いったいどこにあるのか。映画が光と影であるとすれば、舞台には実在としての人間がいる。脚本が映画の設計図だとすれば、ではいったいどこで映画は成立するのか。台詞の用いられ方ひとつとっても違いは尽きない。過去の優れたシナリオを読み、主題、表現について考え、討議するとともに、実際に短編、中篇の脚本を書き、完成させる。</p>					
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席状況および受講態度によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	記録映像研究	単位数	2	履修区分	必修科目B
通年		教員名	筒井武文	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容							
教材・参考書							
成績評価の方法							
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

映画専攻専門科目

科目番号		授業科目名	映画表現技術ゼミⅠ	単位数	6	履修区分	選択科目A
通年	担当教員の指示による	教員名	黒沢清、筒井ともみ、榎井省志	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>映画は専門的な技術集団による共同作業であることが大きな特徴である。自分が属する職能に習練するのは当然として、他の職能の基礎的理論や職務内容を相互に理解し合うことが、作品の質を高めるとの理念に基づき、夏休み期間中の映画作品制作に向けて、全領域について学習する。主に演出に特化されて授業を行っている。</p>					
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席状況およびレポートの内容によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	映画表現技術ゼミⅡ	単位数	6	履修区分	選択科目A
通年	担当教員の指示による	教員名	黒沢清、筒井ともみ、榎井省志	対象学生	映画専攻2年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>映画製作の基本的な概念、著作権概念、音楽等著作権行使の実際、シナリオ評価および開発の方法論、マーケティング、国際共同製作などを概括的に学ぶと同時に、現在注目されているプロデューサーたちを招いて、彼らの製作哲学を聞く機会も設ける。監督・脚本・製作者たちが、企画を立て、またそれを検証するに際して必要な発想を実践的に学ぶ。</p>					
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席状況およびレポートの内容によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

映画専攻専門科目

科目番号		授業科目名	映画制作技術ゼミⅠ	単位数	6	履修区分	選択科目A
通年	担当教員の指示による	教員名	柳島克巳、磯見俊治、長嵩寛幸、筒井武文	対象学生	映画専攻1年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>映画は専門的な技術集団による共同作業であることが大きな特徴である。自分が属する職能に習練するのは当然として、他の職能の基礎的理論や職務内容を相互に理解し合うことが、作品の質を高めるとの理念に基づき、夏休み期間中の映画作品制作に向けて、全領域について学習する。主に技術に特化されて授業を行っている。</p>					
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席状況およびレポートの内容によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	映画制作技術ゼミⅡ	単位数	6	履修区分	選択科目A
通年	担当教員の指示による	教員名	柳島克巳、磯見俊治、長嵩寛幸、筒井武文	対象学生	映画専攻2年生		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>撮影照明、美術、録音、編集などの優秀な技術者の作品を鑑賞、分析していく。可能な場合は、その作品の担当者や助手に来ていただき、直接、質疑応答を行う。スタジオ・システムが崩壊している現在では、技術の伝承は緊急の課題になっているからである。</p>					
教材・参考書		必要に応じ、授業時間内で紹介する。					
成績評価の方法		出席状況およびレポートの内容によって評価					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							